

次大外記をめして仰て曰、今日讓位あるべし、諸司に召仰べきよしこれを仰らる、外記いせうして退下、次辨をめして仰て曰、今日讓位事あるべし、御裝束を奉仕せよ、  
刻限大臣以下陣座に着す、上卿、辨を召して仰す、次職事來て、幹仁の親王○後小松をもて皇太子として則讓位、太政大臣藤原朝臣をもて、政治を攝行せしめよ、一として忠仁公の舊事のごとし、兼又太上天皇尊號、ならびに服御物をとゞむべし、應徳の例によるべし、次大内記をめして宣命の趣を仰す、

### 職事の詞のごとし

次内記宣命草を進す、次職事をめして、これを奏聞、返給ふ、次内記をめして清書せしむ、又職事をめして奏聞、返給ふ、内記をめして玄ばらく預給ふ、

### 次節會儀

内辨、宣命使を其人につぐ、次外辨に出べきよし諸卿に仰す、次諸卿座を起て外辨に出、次内辨陣の座をたちて宣仁門代にて靴を着す、内記まづ宣命とりて笏にとりそふ、次近衛階下に陣す、立陣なり、次内辨宣命を笏にとりそへて軒廊にたつ、西面、次内侍東檻にのぞむ、内辨階下において揖して、階をのぼりて簾子をへて、當間を入れて兀子に着す揖あり、北面、次開門、次闇司分るる、次召舍人、二音、次少納言版につく、次宣いはく刀禰召せ、次外辨參列、次宣命使をめす、

### 笏をならしてこれをめす

宣命使列をはなれて、堂上内辨のうしろに來て、宣命を給はりて、本路を経て下殿して、軒廊にたつ、南面、次内辨下殿階に向て一揖、右廻して宣命使にむかひて揖す、宣命使答揖、内辨軒廊をいでて、南行して更に西に行て、大納言列のまへ、大臣の後をへて我標にたつ、揖あり、次宣命使版に就く、